



「金次郎塾」

校長 林 なおみ

昭和の初め頃、「一生懸命勉強する」「働くことを惜しまない」模範的な姿の人として、多くの学校に二宮金次郎の像が建てられました。中之口東小学校には、二宮金次郎像が二体あります。一体は校門を入ったところに、もう一体はランチルームにあります。ランチルームにあるのが初代の二宮金次郎像です。不慮の事故で亡くなった子どもを偲び、地域の方が寄贈されました。校門にあるのが二代目で、年を経て傷んでしまった初代の像から型取りをして、ブロンズ像に再建しました。

中之口東小学校では、毎週月曜日の放課後（2時30分～3時30分）に、二宮金次郎像の見守るランチルームで「金次郎塾」が開かれます。金次郎塾では、地域の方々が、子どもたちの学習を支援します。参加は2、3年生の希望者で、後期からは1年生も加わります。子どもたちは、宿題や学習プリント、タブレットを使って、自分で計画を立てて学習を進めます。

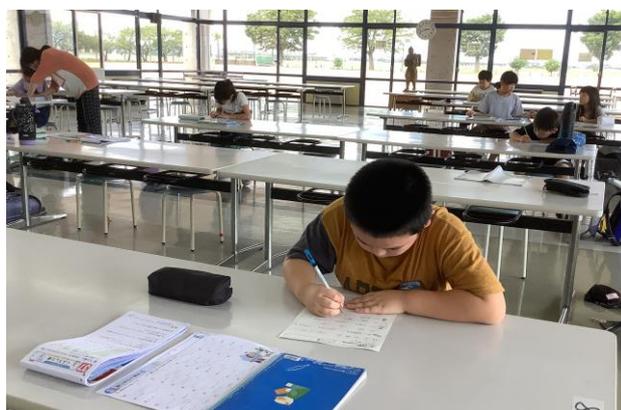
「金次郎塾」のなりたち

西蒲区で、平成27年度から、教員経験者を中心とした地域の方々による放課後学習支援事業が始まりました。中之口東小学校では、平成29年度から「金次郎タイム」として実施しています。

今年度は、「金次郎塾」と改称し、毎週子どもたちが張り切って学習しています。学習支援を担当してくださる方々の中には、支援事業立ち上げから参加してくださっている方もいて、お世話になった子どもたちは延べ200名近くになります。コロナ禍で実施できない年が続きましたが、ようやく今年度再開することができました。

大人になった二宮金次郎（二宮尊徳）は、「世のため人のために役立ちたい」という志をもち、災害や飢饉で壊滅状態となった村々を立て直す仕事に力を尽くしました。金次郎のたゆまぬ努力と卓越した手腕により、600もの村が復興し、多くの人々が助けられたそうです。

中之口東小学校の子どもたちは、二宮金次郎像に見守られて6年間を過ごします。子どもたちが一人一人、自分の学びを通して、金次郎のように志を未来へつないでくれることを願っています。



【金次郎塾で学習に励む】

頑張る子どもたちを金次郎像が見守ります。